

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(卒業 / 保育士)
授業科目名：保育実習指導Ⅲ 英語表記：Guidance for PracticeⅢ ナンバリング：2708		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：高橋努 担当形態：単独
科目/系列	/保育実習		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	/保育実習指導Ⅱまたは保育実習指導Ⅲ		
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 実習にむけて、あいさつや服装など生活全般のマナーなどを身につけ、実践できる。 2. 将来、施設保育士として勤務するために必要な技術と理論を身につけることができる。 3. 支援計画・記録・評価の方法や内容について理解し、具体的に表現できる。			
【授業の概要】 児童福祉施設等における実習の意義と目的について理解を深め、施設保育・社会的養育について総合的に理解する。既習の実習や教科目の内容や関連性を踏まえ、保育の実践力を習得し、観察、記録および自己評価等から施設保育士の専門性と職業倫理について理解を深める。事後指導では、総括と自己評価を行い、今後の課題を明確にする。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			○
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			○
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			○
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
【授業計画】 第1回：オリエンテーション(実習の心得、マナー、実習先の確認等) 第2回：児童福祉施設について(振り返り)(1) 第3回：児童福祉施設について(振り返り)(2) 第4回：実習目標の考え方と実習生調書の書き方(1) 第5回：実習目標の考え方と実習生調書の書き方(2) 第6回：児童発達支援センター等体験学習(1) 第7回：児童発達支援センター等体験学習(2) 第8回：児童発達支援センター等体験学習(3) 第9回：外部講師による講演(児童福祉施設) 第10回：模擬授業(グループワーク実践①チーム) 第11回：模擬授業(グループワーク実践②チーム) 第12回：模擬授業(グループワーク実践③チーム) 第13回：実習の振り返り(グループワーク) 第14回：実習の振り返り(プレゼンテーション資料の作成) 第15回：実習の振り返り(プレゼンテーション) 定期試験：なし		【授業時間外の学習】 「保育実習Ⅲ(施設)」がスムーズに実施できるよう、以下の学習が必要となる。 1. 配属先の施設に関する情報を集める(1時間) 2. 配属先の利用者や児童についての情報を集め、理解を深める(2時間) 3. 文献資料等を参考に、児童福祉施設の歴史的背景等についても学習をする。(2時間) これら調べ学習が必須であり、図書館などを活用し率先して学習すること。	

<p>【授業の方法】 講義形式で行う。また、児童発達支援センター等児童福祉施設での体験学習を行う。提出課題に対しコメントをして返却する。</p>	
<p>【テキスト】 『施設実習 パーフェクトガイド』 守巧ほか著 わかば社</p>	
<p>【参考書・参考資料等】 授業内で適宜プリント等配布する（施設パンフレット等）。</p>	
<p>【学生に対する評価】（課題評価については、ルーブリック評価を活用する。） 授業の中間で行う筆記テスト（50%）、提出課題（50%）。</p>	
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>保育実習Ⅲを必ず履修すること。</u> ・ 施設実習は学生が自ら考え行動することで、体験から学びとってゆくプロセスが重要である。それぞれが問題意識をしっかりと持ち、積極的・主体的に準備を進めること。 	
実務経験の有無：有	実務経験：元施設勤務（社会福祉士）
<p>【実務経験を生かした教育内容】 施設での相談業務経験を活かし、施設保育士の必要性や実践力が身につくよう、施設と連携した実践に近い授業を行う。</p>	